

【中小企業振興円卓会議】
平成29年度専門部会 活動成果報告書

活動名	学生のキャリア教育に係る推進活動及び調査・検証活動 (「高校生を対象とした地元担い手育成事業」の実施、キャリア教育実践企業マップづくり)
部会名	人育ち応援部会
部会長・副部会長名	米田 順哉
代表団体名	愛媛県中小企業家同友会
構成メンバー	愛媛県若年者就労支援センター、愛媛大学、松山大学
事業期間	平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日
事業費 (うち補助金) ※見込額	882,920円 (882,920円)
活動成果 (検証結果等)	(今年度の活動成果、次年度への継続が必要な内容等を箇条書きで記載)
	<p>(1)高校生を対象とした地元担い手育成事業（松山市内高校インターンシップ） （活動成果・検証結果等・次年度に引き継ぐ内容）別紙報告書を参照。</p> <p>(2)「キャリア教育実践企業マップ」事業 （活動成果） ①「キャリア教育実践企業マップ」サイトの立ち上げ ②協力の意向を示している働きかけ企業12社（掲載データのシート作成中） ③構成メンバー・代表団体の協力をもとに、受け入れ実績のある企業のリスト化 （検証結果等） ・働きかけた経営者からの反応はよく逆提案などを頂くこともあるため、引き続き来年度も受け入れの働きかけを行う。 （次年度に引き継ぐ内容） ・当面はすでに受け入れ実績のある企業を基本に働きかけを行い、60社以上の掲載を見込む。</p> <p>(3)学校法人松山大学での中小企業経営者による提供講座 （活動成果） ・2018年度4月より学校法人松山大学での中小企業経営者による提供講座を開講。事前に登壇者らと開講目的を大学等担当教員と打合せ、講義内容の意見交換を行った。</p>
課題・提案等	(活動を通じての課題・提案等を箇条書きで記載)
	<p>(1)高校生を対象とした地元担い手育成事業（松山市内高校インターンシップ） ①担当教員とより綿密な打合せが必要。趣旨説明から始まり、協力企業と担当教員との打合せ、募集結果の報告、当日実習までの流れ、終了後に感想文等を事務局にまで共有されることなど、全体の実務フローの事前申し合わせが重要。</p> <p>(2)「キャリア教育実践企業マップ」事業 ①キャリア教育実践企業マップの周知と、活用や普及についての具体化の検討が必要。例えば、学校へどう周知していくか。報道関係者の対策が必要かなど。 ②受け入れ側の体制へのサポートが必要（受け入れ実績のある企業であっても実習のプログラム化や整備などの質的向上をさらに目指すこと、また実績がないがこれから受け入れていただける企業へのアドバイス等）。 ③キャリア教育実践企業マップのフォーマット回収を引き続き働きかけ、掲載企業を増やす。</p>
備考	(今後の方向性等、その他事項を箇条書きで記載)
	来年度も引き続き行う。2018年度前半は受け入れ実績のある協力企業を引き続き働きかけを進め、後半からは協力企業を開拓して掲載企業を増やしていく。

【必要な添付書類】

- 活動記録等参考となる書類（任意様式）
- 収支決算見込書